

催吐リスク

リンパ G1000/d1/c56d

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液			点滴時間 (分)	投与日(day)
			mg				
			mg				
			mg				
デキサメタゾン	注射	16.5	mg	生食	50	mL 全開	1
ガザイバ	1000	mg/bo		生食	250	mL	1
						mL	
						mL	
						mL	
						mL	

内服薬

アセトアミノフェン 500mg day1

ポララミン 2mg day1

投与基準等

II. 投与・休薬基準 (例:白血球 $\geq 2000/mm^3$ 、好中球 $\geq 1000/mm^3$ )

Infusion reaction 発現時の副腎皮質ステロイド

ヒドロコルチゾンについて、予防的な使用は推奨されないが、治療として使用は可能

Infusion reaction 発現時の速度対応

Grade1-2

投与中断し症状改善後に半分以下の速度で再開、症状再発現認めなければ速度 UP 可能

Grade3

投与中断し症状改善後に半分以下かつ 400mg/時以下の速度で再開し、症状再発現認めなければ 30分毎に 50mg/時ずつ最大 400mg/時まで速度 UP 可能

Grade3の Infusion reaction が再発した場合は中止し再投与不可

Grade4

投与中止し再投与不可

Ⅲ. 減量基準 (例:Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)  
ガザイバ 減量なし

好中球  $500/\text{mm}^3$ 未満または血小板  $25,000/\text{mm}^3$ 未満の場合  
トレアキシム  $90\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow 60\text{mg}/\text{m}^2 \rightarrow$ 中止

Ⅳ. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37.5%)

感染症 37.0%

好中球減少 45.5%

Infusion reaction 59.0%

悪心 43%

疲労 26.9%

発熱 25%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

[N Engl J Med 2017;377:1331-44 Obinutuzumab for the First-Line Treatment of Follicular Lymphoma](#)

